

# 日本発のイノベーションに期待

## 日本の起業家精神の展望

### アントレプレナーII チエンジ・エージェント



黒川 清氏

■開会基調講演



### パネル討論 ソーシャルイノベーションの創出にむけて

日本で「アントレプレナー」というと、事業を起こす人と考えられるがちだが、そうではない。よりふさわしい言葉は「進取の気性にあふれる人」だ。事業である、何であれ、大きな夢と目標へ、新しいこと、楽しいことを、どうやつたら実現できるかを常に考え行動し続け、社会に新しい価値を作り出していく。このわずか100年の間で、ライト兄弟、フォード、その後では本田宗一郎、ソニーが出ていくのだ。

小島 ソーシャルイノベーションについて、皆さんの取り組みから。

島根 私は元々ミスミ創業者田口弘氏が興したエムアウトにいた。新規事業だけを創出する会社で、当社は3年前その一事業として創業した。待機児童問題が注目される中、少子化社会と業界構造の変革を目的に民間学童保育に参入した。

グローバル・アントレプレナーシップ・ワーカー・ジャパン(GEWジャパン)が11月11日から23日まで13日間にわたり開催された。今年はマネジメントの父、ピーター・F・ドラッカー博士の生誕100年。これを記念し、日本における起業の現状と課題、ソーシャルイノベーション(社会変革)には何が必要か――有識者がさまざまな角度から議論を展開した。16日と20日のフォーラムから抜粋して紹介しよう。

### 社会に何を残したかが重要

服部 氏

社会に何を残したかが重要

服部 氏